

支部	事例No.	地区	活動名称 (行事名)	概要	ねらい						参考資料 その他				
					参加企業要望把握・対応	情報提供 地区PR	新規会員 会社勧誘	幹事育成 交流	ネットワーク構築・強化	その他					
北海道	1	苫小牧・千歳地区	事務局交流会	賛助会社窓口を対象に年度初めに開催。年度方針・計画の紹介と各社の実態やニーズを把握し、活動に反映。賛助会社への支援策。交流会では賛助会社からの推進事例紹介が好評。	◎	○			○		○支援活動(社内での講評等)	12/39社が参加。固定化しつつある。			
	2	室蘭地区	推進担当者交流会	賛助会社へ支部・地区年度方針・計画を紹介し、意見交換。懇親会でも活発で、地区の結束に成果。	○	◎			○			16/28が参加			
	3	支部	出前研修	賛助会員会社の特典サービスとして、年4回まで無料の(一般会社は交通費徴収)研修会を実施。支部役員・幹事が講師を担当し、2011年度は26件の実績。サークル単位の指導では、早期に支部大会で発表。医療関係のネットワーク作りにも成果。	◎	○	○	○	○		○社内大会での講評者派遣も実施	土・日の講師派遣希望が多く、講師選定に苦慮			
関東	4	支部	幹事会社のために何をすべきか	支部中期ビジョンの3つのプロジェクトの1つで、幹事会社(幹事)への3施策(新任幹事育成、情報共有化、行事優待制度)を、2012より展開。新任幹事研修会は本部とも連携。					○			プロジェクト2は運営事例、3はベストプラクティス&広報			
	5	支部	関東支部幹事交流会	支部内9地区の幹事が集い、自社の活動状況を話し合い、他社の事例に学び合うことを目的に、本年、初めて2日間にわたり開催。互いに共通の悩みを抱えていることから、次回はその解決策を議論予定。7地区より14名参加。	○				○		◎他地区幹事間交流				
	6	京浜・埼玉・神奈川	3地区合同ミーティング	地区間交流を深めるため、2005年より正副幹事長で年3~4回開催。合同行事開催などの成果。元々は地区統合を目指し開催。継続は課題。							◎3地区間交流				
	7	京浜	推進事務局交流会	ネット会員(各社事務局や幹事)が集い、他社の推進事例から推進のノウハウを学び合う。困り事の共有と情報の共有化、大会への新規発表などに成果。2005年より年1~2回開催。午後半日行事。	○	○	○	○			◎事務局交流	本年1回目は、地区関係21名、ネット会員14名			
	8	長野	推進担当者交流会	各社推進者・幹事を対象に、他社の推進事例を学び合い、意見交換(GD・発表)を通して自社に活用。2社が準幹事会社と幹事会社に加入。推進者の参加減少が課題。午後半日行事。	○	○	○	○			◎事務局交流	○一般参加企業訪問も実施	2007年より場所を変えて開催。		
東海	9	愛知	推進事務局交流会	一般企業を含めた交流会で、推進上の悩み・問題点を出し合い、互いに解決策を学びあう。活動導入検討企業が導入決意するなど成果。非幹事会社対象で参加が減少、本年は中止したが、再度ニーズ調査し再開したい。午後半日行事。	◎	○	○		○		○幹事会社間の交流も活発化	会場提供の幹事会社工場見学実施 会費¥2300			
	10	愛知	行事紹介キャンペーン	地区行に未参加、または遠ざかっている会社を対象に、地区活動・行事を紹介。フレッシュ大会の午前中に開催し、午後の大会へ無料招待。地区行事参加を促進。1月開催時には、リーダー研修会へのミニ体験も実施。	○	◎			○		○幹事会社に1社加入	○大学・高校・市役所との繋がりが強化	08年より7回で44社635名参加		
	11	愛知	いきいき事例研究大会	参加対象は限定せず、各社の優秀事例発表後に、部門別に分かれたワイワイ事例研究会で、気楽に学び合う。なんでも相談コーナーを設け、ベテラン幹事が対応。相談会でのQ&Aを小冊子化。	◎	○	○		○				1日大会 参加費¥4500		
	12	静岡	企業訪問活動	地区と参加企業・団体との太いパイプづくりとして、2005年より取り組み。年度初めに全幹事が近隣企業(一般企業含む)を訪問。事務局の悩みや地区への要望を把握。成果は、行事参加企業・参加者ともに増加。訪問活動は七つ道具を準備し、役員は新規開拓のため企業訪問実施し、TOPの活動への取り組みや将来の動向を調査。 *訪問目標:5社×幹事22名=110社 '11年実績:177社(8社/人、1社約1H懇談)	◎大会招待も案内	◎訪問活動七つ道具					◎賛助会員は2006年27社から2011年には77社に増加	◎相手事務局との親密な関係作りや悩み事相談	◎	※幹事自身がこの活動の必要性を体感	「固定客を放さない、新規顧客開拓」、「Face to Face」をモットーに
	13	静岡	賛助会員研修会	賛助会員会社の推進事務局を対象とした研修会を毎年12月に開催。プログラムの中で、「悩み事・困りごと相談タイム」を設け、事前に文書で寄せられた相談事項をアドバイザーがまとめ、グループ単位で回答している。	◎	○			○				Q&Aのノウハウ蓄積・活用 ※添付		
	14	三重	推進者交流会	各社の推進者の悩み事の相談と意見交換を目的に開催。地区活動紹介~工場見学~GD、の構成。午後半日の行事。参加企業では、サークル数の増加や地区行事への参加増などが見られる。参加27名のうち、23名はメール会社。	◎	○	○		○						

支部	事例No.	地区	活動名称 (行事名)	概要	ねらい						参考資料 その他
					参加企業要 望把握・対応	情報提供 地区PR	新規会員 会社勧誘	幹事育成 交流	ネットワーク構 築・強化	その他	
東海	15	支部	支部間交流会	北陸、関東、近畿、東海の4支部で、支部間を越えた行事・情報の共有化など協力体制を探るため、2011年6月に開催。各支部正副幹事長、各地区幹事長、各支部正副世話人数名、各支部事務局数名で開催。支部を越えた行事参加や情報交換、ネットワーク構築に成果。午後の半日開催。	○	○		○	◎支部間		支部間共同での行事開催を検討
北陸	16	富山	QCサークル研修会 推進者コース	春秋2回の研修会のうち、春季は推進者コースとして、推進者の役割を学び、サークルへの支援・指導・助言の仕方、そして講評の仕方を実践形式で習得する。2日間の研修で富山地区のみで実施。	○これから導入予定を含む			○	○		推進者に特化
	17	支部・地区協賛	QCサークル研修会 事務局コース	各社の推進事務局(導入予定を含む)を対象に、推進事務局の役割と具体的な展開方法を、講義、GD、推進事例紹介等を通して習得。2日間の研修で、1回/4年、各地区で支部・地区共催。	○これから導入予定を含む			○	○		推進事務局に特化
	18	支部・地区協賛	経営者・管理者フォーラム	2002年より開始し10周年。当初は富山地区で開催、その後、富山地区以外の地区は4年に1回、支部・地区で共催。午後半日行事。懇親会有り。	○	○	○		◎		
	19	支部	幹事研修会 QC検定3級講座	幹事の任期が2~3年であり、退任の際に具体的なレベルアップを、QCサークル指導士及びQC検定3級程度の知識・資格を身につけてもらうことを目的としている。指導士は2年に1回、QC検定は2011年より受験講座を設置。本部認定講師・指導員が分担し、テキスト作成と講義を実施。無償で1日(400分)。				◎資格取得支援	○幹事と本部認定講師・指導員		テキストは自社でも活用
	20	富山	幹事会社代表懇談会	幹事会社トップおよび代表者同士の交流の場として、ネットワークの充実をはかる。この中で、今後10年間の支部長会社・地区長会社の計画を審議する。トップとはゴルフコンペを実施。トップの理解が進み、幹事の行事参加率は年々向上してきた。	○	○			◎		10年先まで、支部長会社、地区長会社は決定済み。
	21	富山	会員交流会	企業間交流の場として、地区行事紹介、パネルディスカッション、工場見学会などをおして、共通な運営の悩み解決に資する。後に開催のミニ発表会へ交流会参加企業から3件の発表があった。1日行事、23社45名が参加。	◎	○	○		○		実際のパネルディスカッションが好評
	22	新潟	幹事会社代表者会議	幹事会社の交流と役割分担・懸案事項の審議を目的に、平成16年より開催。役割分担を決めるだけの会議から、工場見学会や意見交換を含む内容になった。昼食会を挟んだ半日行事。	○	○			◎		幹事会社の地区役割分担を審議
近畿	23	大阪・近畿南地区	賛助会員会社推進者交流会	賛助会員会社支援の一環として、各社における推進上の悩みや課題を、他社事例や意見交換をおして、活発化へのヒントを得ていただく。オープンスクール方式でのフリーディスカッションでは、事前アンケートから複数のテーマを設定。午後半日行事で無料。	◎	○			○		
	24	兵庫地区	推進者・事務局研究会	各社の推進者・事務局と地区幹事が、講演やグループ討議をおして、推進上の悩みや課題に対するヒントを得ていただく。参加企業から、幹事会社加入やJHS選抜支部大会へのエントリーがあり、個別指導を実施するケースもある。1日行事。	◎	○	○	○	○		
中国・	25	山口	ブロック協議会	ブロック行事の審議とともに各協賛会社および幹事の悩み等を協議。東部と西部ブロックにて4~5回/年開催。ブロック別発表大会には、協賛会社にも一部の役割を分担していただくよう協議。	○協賛会社と運営分担		○		○		
四国	26	山口	幹事会	地区行事の審議とともに各幹事会社の悩み等を共有し、検討・協議。				◎幹事会社の悩み共有	○		
	27	支部	地区間交流会	支部・地区活動の問題・課題を共有し、役員・幹事間の交流を深め、今後の活動に反映。工場見学会、講演、討議、懇親会の1日行事。情報交流の円滑化がはかられ、課題検討委員会を設置予定。	○			○	◎各地区役員・幹事間交流		

支部	事例No.	地区	活動名称 (行事名)	概要	ねらい						参考資料 その他	
					参加企業要 望把握・対応	情報提供 地区PR	新規会員 会社勧誘	幹事育成 交流	ネットワーク構 築・強化	その他		
九州	28	中部九州	<a href="#">インストラクターの 不足</a>	幹事の交代が2年程度と早く、講評者・審査委員・インストラクター不足解消のため、OB幹事の登録制で対処。地区負担はやや増えるが、2011年より成果をあげている。							◎ベテラン 幹事不足 への対応	
	29	中部九州	<a href="#">幹事研修会</a>	エリア幹事会社の幹事・上司・次期幹事候補者を含む対象者で、レベルアップと上司への理解度アップをねらいに開催。本年より1回とし、問題解決法やQC手法の研修を1日で開催。				◎幹事 のレベル アップ				
	30	中部九州	<a href="#">エリア幹事会社 サークル支援</a>	エリア内幹事会社のサークル支援を必要に応じて実施。今回はJHS選抜大会出場サークルに対し、原稿作成などについて支援。支部・地区そしてエリア幹事会社とのつながりと支援体制が充実。	○				◎エリア 幹事会社 との結び 付き			
	31	西部九州	<a href="#">幹事研修会</a>	地区幹事会社および地区運営幹事会社の幹事を対象に、QCサークル運営、手法・講評などの技能向上と各社が抱えている問題の共有・アドバイスを実施。地区運営とともに社内推進技量の両方を意識。1泊2日にて。	○		○	◎事前に 「幹事の 棚卸し」を 配布し状 況を把握	○未加入 会社の参 加で、後 に運営幹 事会社 に加入			
	32	北部九州	<a href="#">賛助・幹事合同研 究会</a>	各社の推進事例に学ぶ共に、推進上の悩みを意見交換。幹事会社16名、運営幹事会社4名、賛助会員会社29名参加(2011実績)。午後半日行事。	○			◎事前に 意見・要 望を把握 し、回答	○			
	33	支部	<a href="#">地区間交流会</a>	支部内各地区幹事が集い、各代表から自社の活動状況を紹介し合い、意見交換・共有する。研修ではテーマを班別研究し、支部・地区運営向上に資す。年1回、午後の半日。	○			◎	○			支部役員会 の前日に開 催
沖縄	34	支部	<a href="#">トップ懇談会</a>	幹事会社・賛助会社の幹事・各社役員・推進事務局を対象に、QCサークル活動の理解共有・情報交換、互いの人脈作りを年1回実施。幹事会社・賛助会社のメリット提供の一環。推進事務局同士の交流が活発化。半日行事。	○	○	○賛助会 社から幹 事会社へ の加入促 進	○互いに 資料交換 や社内大 会に参加	◎			
	35	支部	<a href="#">推進事務局からの 悩み対応</a>	一般企業を含む各社からの相談を支部事務局が受け対応。必要に応じて、支部世話人・副世話人が出向いて支援実施。支部行事への参加に成果、また活動導入に期待。相談は随時受付。	○	○	○	○	◎			相談は随時 受け付け
	36	支部	<a href="#">幹事研修会</a>	賛助会社の推進事務局・管理者を含め、幹事・推進事務局のレベルアップと人脈作りを年4回実施。各社推進事務局同士の交流促進。支部大会への賛助会社からの運営参加にも成果。	○	○	○	◎互いに 資料交換 や社内大 会に参加	○			
	37	支部	<a href="#">経営者フォーラム</a>	幹事会社・賛助会社の役員を主な対象に、QCサークル活動の理解共有・情報交換の場として、H19より開催。貴重講演・パネル討論会・懇親会のプログラム。各社の活動活発化と支部行事参加増に成果。	○	○	○		◎			